



2021年1月7日

各 位

会 社 名 株式会社 京 進
 代 表 者 名 代表取締役社長 福澤 一彦
 (コード番号 4735 東証第2部)
 問 合 せ 先 取締役企画本部長 兼 経営企画部長 松本 敏照
 電 話 (075) 365-1500

2021年5月期の業績予想及び配当予想に関するお知らせ

2020年7月7日に公表いたしました2020年5月期決算短信において、未定としておりました2021年5月期(2020年6月1日～2021年5月31日)の業績予想及び配当予想について、下記のとおりといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年5月期 連結業績予想

2021年5月期 連結業績(2020年6月1日～2021年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	23,092	△33	175	10	1.35
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期連結実績 (2020年5月期)	22,027	△173	△88	500	64.26

2. 2021年5月期 個別業績予想

2021年5月期 個別業績(2020年6月1日～2021年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	12,481	93	405	202	7.79
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期連結実績 (2020年5月期)	12,439	74	220	△279	△35.87

3. 業績予想修正の理由

2021年5月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が与える影響について不確定な要素が多く、合理的に算出することが困難であることから未定としておりました。引き続き、同感染症の影響については、収束時期等を正確に予測することは困難ではありますが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき業績予想を公表するものであります。

学習塾事業では、感染症拡大防止のための休講の影響で、2020年春の入室数は大きく減少しましたが、6月以降は入室数前年比3.7%増と堅調に推移しております。第2四半期までの学習塾セグメントの売上高は前年同期比2.1%減と前年を下回ったものの、オンライン授業など代替の施策を展開することで、第2四半期のセグメント利益は前年同四半期比2.0%増となり、経営成績への影響を最小限にとどめることができました。今後の売上高についても、第2四半期までと同様、堅調に推移するものと見ております。

語学関連事業においては、国内の日本語学校への留学生の入国停止や、オーストラリアの英会話学校への留学生の入国停止などの影響を受けております。第2四半期までの語学関連事業セグメントの売上高は、前年同四半期比30.9%減と前年を大きく下回り、売上高が減少したことにより利益も減少しております。オーストラリアの英会話学校は依然として入国規制が継続されているものの、国内の日本語学校では、2020年10月以降、徐々に留学生の来日が可能になり、2020年4月から10月の入学予定者で入国できず自国で待機していた留学生が入国しました。2021年春は通常通りの授業体制を想定した見積りとしております。

保育・介護事業においては、感染症の影響は限定的なものであり、2020年春夏16園の保育園開園により、第2四半期までのセグメントの売上高は、前年同四半期比18.4%増となりました。新規開園の先行投資により、セグメント利益は前年に比べ減少し、176百万円の損失増加となりました。

なお、第2四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症による持続化給付金等の助成金による収入88百万円を営業外収益に計上しております。

2021年5月期通期の営業利益、経常利益については、保育事業において2021年春の園児入園により先行投資の赤字を回収見込みであり、前年度より増加する見込みです。また、保育園開園数が前期15園から今期4園開園に減少する予定であるため、親会社株主に帰属する当期純利益については、開園による設備補助金が前連結会計年度より減少することを前提とした見積りとしております。

4. 配当予想の修正

(1) 2021年5月期配当予想数値の修正

	1株当たり配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想 (2021年7月7日)	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	0.00	—	0.40	0.40
前期実績 (2020年5月期)	—	0.00	—	19.28	19.28

(2) 配当予想修正の理由

当社は、企業価値の継続的向上を図るとともに、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題の一つとして位置付け、連結業績における配当性向30%を目標として配当水準の確保に努めております。

2021年5月期においては、上記の通り1株当たり期末配当金予想を「0.40円」とさせていただきます。

以上